

施策評価シート (平成23年度の振り返り、総括)

作成日 平成24年 04月 06日

施策 No.	31	施策名	防犯対策の推進
主管課名	安全安心課	電話番号	0285-83-8394
関係課名	学校教育課		

施策の対象	市民								
対象指標名	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	26年度見込
人口	人				83,392	82,997	82,584	82,136	85,500

施策の意図	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪による被害から守る。 ・犯罪やそれにつながる問題行動を未然に抑制する。 								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法(算定式など)	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪発生件数で防犯がどの程度実現できているかを警察のデータ(暦年)から把握する。 ・犯罪に不安を感じている市民の割合を、市民意向調査により把握する。 								
成果指標名	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	26年度基本計画目標値
市内の犯罪発生件数	件				1,078	927	781	924	800
犯罪に不安を感じている市民の割合	%				63.8	72.1	69.3	73.5	30.0

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・市民は、「自分たちのまちは自分たちで守ろう」という意識をもつことが必要であり、地域が主体となった身近な防犯活動を継続的に取り組む必要がある。 ・市は、市民の自主的防犯活動の支援や防犯灯の設置補助等による防犯環境の整備促進を図る。 								
-------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

<p>23年度の 評価結果</p>	<p>1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）</p>
	<p>(1) 施策成果の時系列比較（過去3年間の比較） 過去3年間の犯罪件数は、平成21年度：927件、平成22年度：781件、平成23年度：924件と平成21年度に比べ平成22年度は減少したが、平成23年度はほぼ同じである。</p> <p>(2) 近隣他市との比較 平成23年度の県内14市の人口1,000人あたりの犯罪発生件数の状況は、小山市が14.69人で第1位、宇都宮市が14.09人で第2位、矢板市が12.57人で第3位であり、真岡市は、11.68人で6番目である。</p> <p>(3) 住民期待水準との比較 犯罪に不安を感じている市民の割合が、犯罪発生件数の増加に伴い前年度に比べ4.2ポイント増加した。</p> <p>平成23年度の犯罪では、車上狙いが124件ともっとも多く、前年比41件の増となっている。また、市民意向調査では、家を留守にするととき（空き巣、車上荒し等）に対する不安が60.5%ともっとも高い事から犯罪に不安を感じている市民の割合が増加した一因と考えられる。</p> <p>【参考】 平成23年度に真岡市で発生した犯罪で件数の多いものは、第1位が車上ねらいの124件、第2位が万引きの120件、第3位が自転車盗の82件であった。</p>
	<p>2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心のまちづくりを推進するため、ふれあい地域づくり事業での、交通安全・防犯・防災・消費生活等の座談会を、真岡警察署等の協力を得て延べ143回実施した。 ・不審者情報などを市のホームページにおいて情報提供した。 ・市民による自主的な防犯パトロール活動を支援していくほか、学校、地域、家庭、警察の連携強化を図った。（地域ボランティア、スクールガード、少年指導センター、こども110番の家等の協力） ・防犯施設（平成23年度：防犯灯136灯を新規設置）の整備、充実を図った。（防犯灯数：5,640灯） ・不審者情報メールの配信を行った。 ・緊急雇用創出事業として、青色回転灯搭載車による市内102箇所の公園等への夜間（午後6時～午前1時）防犯巡回指導を実施し犯罪発生抑制に努めた。 ・広報車により振込め詐欺被害を防ぐための広報活動を実施した。 ・市内小・中学校の全27校に防犯カメラを設置している。また、真岡駅に5台の防犯カメラを設置している。 ・市内5地区に青色回転灯搭載車を配備し、児童・生徒の下校時に合わせたパトロールを実施した。

3. 施策の課題認識と改革改善の方向

- ・旧今市市の誘拐事件やコンビニの深夜営業店舗への強盗事件などの身近な事件が発生し、市民の不安が高まったことから、この解消のため今後も、学校、地域、家庭、警察の連携を図ってゆく。
- ・防犯灯を含む安全施設整備の充実を図る。
- ・情報交換ができる、連携組織・体制を充実強化する（警察、市、自治会等の関係機関）
- ・地域防犯パトロールを支援する。
- ・青色回転灯搭載車による防犯パトロールを継続して実施する。
- ・防犯カメラは、犯罪行為の証拠の記録及び犯罪行為の抑止を目的としているため、必要と思われる箇所への設置を検討する。

23年度の
評価結果

補足事項